

小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人とかんきょう / 理解シート

地球の水や空気は、どうしてなくなるしないの



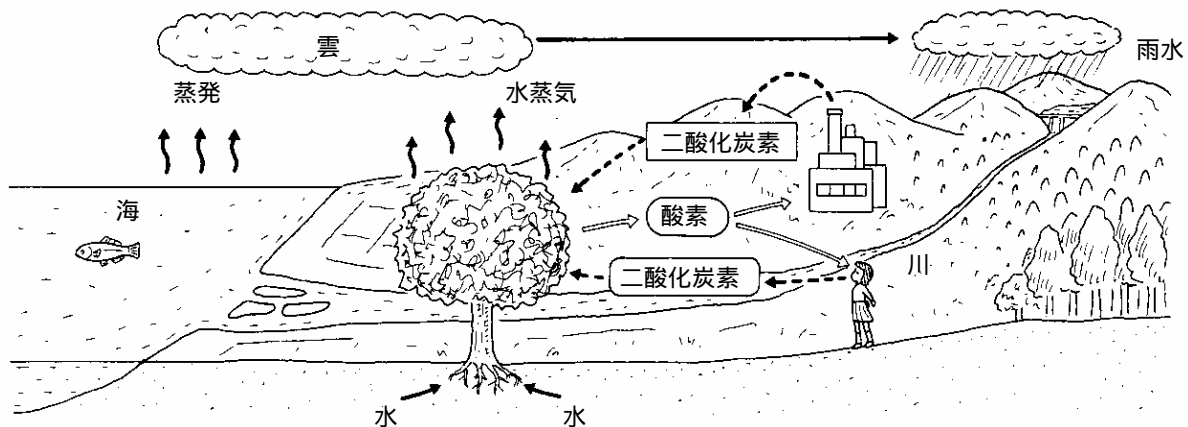
水や空気は、形を変えて、同じものがくり返し使われていることになるから、なくなるしないのさ。

水は、空の雲 雨水 地上 川 海 雲の変化をくり返している

水道の水、植物が利用する土中の水、川の水などは、どれももとは雨水です。使われてよごれた水や雨水は、下水しより場で、どろやよごれ成分をとりぞいでから、川や海に流されます。海面や地面からは、たえず大量の水が蒸発じょうはつしています。植物も、大量の水を根から吸すい上げて、空気中に水蒸気すいじょうきを出しています。これらの水蒸気が集まって雲ができ、また雨水となって地上にもどってきます。

植物が、ふえた二酸化炭素をへった酸素に変えるので、空気の量は変わらない

生き物はみんな、呼吸こきゅうで空気中の酸素を吸って、二酸化炭素を出しています。また、工場や発電所、自動車などを動かすのに、石油や石炭が燃やされ大量の酸素が使われて、二酸化炭素が出てきています。けれども、たくさんの植物（森の木や海の海そうなど）が、日光の助けをかりて、水と空気中の二酸化炭素を材料に、デンプンと酸素をつくり出します。植物が、ふえた二酸化炭素をへった酸素に変えてくれるので、空気はなくなるしないのです。



水・空気（酸素・二酸化炭素）の旅